

2024年10月号

山形県最上総合支庁 隔月発行

最新情報はツイッターでご覧ください



最上川舟下りと兩岸を彩る紅葉（戸沢村）

地域の未来を見据え意見交換「最上創生懇談会」

9月19日、新庄市エコロジーガーデンを会場に、最上地域で活躍されている方々の声を聞き、県の施策展開に活かす「最上創生懇談会」を開催しました。高校生や地域の経営者など、様々な分野から8名の方にご出席いただき、「地域における課題」や、「今後強化すべき施策」をテーマに意見を交わしました。

出席者からは、「若者が夢を追いかけられるまち作りを目標に、青年会議所や商工会議所に協力を依頼してはどうか」「山形新幹線の安定的な輸送確保を」「資材高騰や賃金上昇等を農産物に価格転嫁することについて情報発信してほしい」「地域間の福祉・医療施設の役割分担を進めたい」「フリースクール認証制度を作り、県として支援を」「地域貢献したいと考える若者を後押しする環境が必要」等、様々な意見が出されました。

最後に、オンラインで参加した吉村知事より「最上地域には伸びしろがたくさんある。皆さんと一緒に頑張って、最上地域を盛り上げていきたい」とお話がありました。

いただいたご意見、ご提言につきましては、今後の施策等を検討するうえで活かしてまいります。

[連携支援室 29-1239]



子どもたちが一日知事体験！

子どもたちが「一日知事」を体験する「子ども知事室」が8月5日（月）に山形県庁にて開催され、最上地域からは小学5・6年生の子どもたち2名が参加しました。

はじめに、吉村知事より一日知事の任命を受け、知事との懇談を行いました。「私が思い描く未来の山形県」について発表し、「自然豊かで農業が盛んな県にしたい」「山形県で働きたいと思えるように今働いている人が優遇される県になってほしい」「県外に山形県の魅力を伝えたい」といった意見が挙がりました。また、知事に対して「水害で汚れた川をきれいにするために何をしていますか」「外国からの観光客を増やすためにどう工夫していますか」「県が行っている暑さ対策はなんですか」等の質問がされ、知事の回答を聞きながら真剣にメモを取っていました。午後には、県農業総合研究センターで稲の病気や米の品質判定、枝豆の加工等について学び、普段見ることのない機械や作業工程に興味深そうに見学していました。

県では、今後も未来を担う子どもたちのふるさとへの理解を深められるよう取り組んでまいります。

[子ども家庭支援課 29-1221]



高梨彩華さん
(鮭川小学校5年)



山本麗王さん
(日新小学校6年)



大雨災害から復旧へ向けた取組み

県管理土木施設については、国庫負担申請する被災箇所の災害査定を、第4次（9月24日～）から第14次（～12月6日）まで予定し、大雨災害の復旧へ向けた取組みを進めているところです。

9月24日からは「全国都道府県における災害時等の広域応援に関する協定」等に基づく県外からの応援職員として、北海道から大久保顕史氏、宮城県から星孟志氏、福島県から本田宗大氏及び村上翔太郎氏の4名が、最上総合支庁建設部に配属されました。

県外からの応援職員の配属は、応援職員の交代やこの他の県からの追加増員等も行いながら、現在のところ今年度末まで予定されています。

被災箇所数が最上管内だけでも約600箇所におよび、県内だけでは査定対応等の見通しが立たないなかで、県外からの応援は本当に心強く、支援いただきながら連携して復旧作業を進めていきたいと考えています。

[建設総務課 29-1391]



7月25日からの大雨被災者向け建設型応急住宅の供与開始

7月25日からの大雨により多くの住宅が被災した鮭川村及び戸沢村に、県が建設していた建設型応急住宅が9月30日（一部10月8日）に完成し、10月から入居開始しています。

今回整備した建設型応急住宅は、建設場所が多雪地域であることから、基礎高を通常の仮設住宅より高くする、基礎構造を鉄筋コンクリート造とする、スロープと通路に屋根をかける、屋根に雪下ろし用固定アンカーを設置する等、積雪に配慮した仕様としています。

県による建設型応急住宅の供与は、昭和51年10月に発災した酒田大火以来となります。

◎建設戸数 鮭川村 8戸

戸沢村 28戸

◎整備スケジュール

8月20日 工事着手

9月30日 工事完了

（一部10/8完了）

10月7日 入居開始（鮭川村）

10月9日 "（戸沢村）

[建築課 29-1417]



建設型応急住宅2DKタイプ（鮭川村）



令和6年7月山形県大雨災害義援金の贈呈について

県では、7月25日からの大雨により被災された方々を支援するため、標記義援金の募集を行っているところですが、9月11日、真室川町立真室川中学校（校長：小野寺 淳氏）から、義援金を贈呈いただきました。今回の義援金は、同中学校の吹奏楽部が、真室川祭りでの発表に向け日々研鑽を積んでいたところ、真室川祭りが大雨の影響で中止となり発表の場がなくなったことと、少しでも災害復興の力になればという思いから、8月16日に新庄駅前ふれあい広場でチャリティーコンサートを実施した際に集まったものです。いただいた義援金につきましては、今後、最上総合支庁で取りまとめた募金と共に人的・建物被害報告があった市町村への復興支援に活用させていただきます。

温かいご支援に心より感謝申し上げます。

[保健企画課 29-1254]



◆7月25日からの大雨により全面通行止めとなっている県管理道路の応急復旧の見込み

(R6年 10月11日 14時 時点)

No	路線番号	路線名	区間	規制延長(km)	う回路	応急復旧見込み
①	344	国道 344号	真室川町差首端 ~ 酒田市北青沢	12.1	有	10月下旬
			酒田市北青沢 ~ 酒田市観音寺			片側交互通行に移行
②	458	国道 458号	新庄市北町(鍛冶橋)			橋梁架替事業へ移行
③	458	国道 458号	鮭川村左道			片側交互通行に移行 8月30日
④	458	国道 458号	大蔵村大字日蔭倉			片側交互通行に移行 8月9日
⑤	30	主要地方道	大石田畑線	舟形町堀内	0.5	有 対応中
⑥	58	主要地方道	新庄鮭川戸沢線	鮭川村曲川	0.5	有 降雪期前
⑦	58	主要地方道	新庄鮭川戸沢線	戸沢村野口	0.5	有 対応中
⑧	187	一般県道	芦沢停車場実栗屋線	舟形町実栗屋		片側交互通行に移行 8月31日
⑨	262	一般県道	最上小野田線	最上町富沢 ~ 宮城県境		規制解除 9月10日
⑩	308	一般県道	曲川新庄線	鮭川村京塚 新道		規制解除 9月10日
⑪	315	一般県道	平田鮭川線	鮭川村段の下 ~ 日下		規制解除 9月13日
⑫	318	一般県道	新庄長沢尾花沢線	舟形町長沢(長沢目橋付近)		規制解除 8月30日
⑬	318	一般県道	新庄長沢尾花沢線	舟形町長沢~尾花沢市南沢		幅員規制(1.5m)に移行 10月10日

※応急復旧見込みが「対応中」の箇所については、現在、調査・設計や関係機関との調整に取り組んでおります。これらの箇所については復旧時期が判明した段階で、順次公表いたします。

※上表は、あくまで現時点(令和6年 10月11日 14時時点)での見込みであり、今後の作業状況によって変動する場合があります。

※県管理道路の通行規制情報(工事等による規制を含む)は、下記 URL より、地図上で確認できます。

山形県の通行規制情報ホームページ >>> <https://www.pref.yamagata.jp/doro/>

令和6年7月25日からの大雨により全面通行止めとなっている県管理道路【位置図】



山形県知恵袋委員会（最上地域）

8月21日、最上総合支庁において、様々な分野でご活躍されている最上地域の先輩方の知恵や知識を県政に反映するため、山形県知恵袋委員会（最上地域）を開催しました。

最上総合支庁長から各委員に委嘱状の交付を行った後、「次代に語り継ぎたい『山形ならではの魅力』について」をテーマに、最上地域の7名の委員から様々な内容のご意見をいただきました。

多くの県民の皆様にも、山形で暮らすことの幸せに改めて目を向けていただけるよう、頂戴したご意見を広く発信してまいります。また、委員のご意見を踏まえ、最上地域の課題であります若者・女性の県内定着や回帰等につながるよう取り組んでまいります。

【知恵袋委員（最上地域）（五十音順）】

- ・荒木 広美 委員（鮭川村）
- ・小野 輝子 委員（金山町）
- ・柿崎 史子 委員（新庄市）
- ・高橋 幸一 委員（真室川町）
- ・寺崎 靖利 委員（最上町）
- ・早坂 竹千代 委員（大蔵村）
- ・結城 恵美 委員（舟形町）

[総務課 29-1210]



新庄・最上ジモト大学 絶賛開校中！！



←Facebook
 << SNS で情報発信中！ >>
 Instagram →



地域の大人と高校生が、一緒に地域のヒト・モノ・コトを本気で学ぶ「新庄・最上ジモト大学」が今年度もスタートしています。今回は、そんなジモト大学で実施しているプログラムの様子を一部ご紹介します。



←ナビゲーションスポーツ講習会（高校生企画プログラム）

地図とコンパスを使って目的地に向かう新感覚スポーツ「ナビゲーションスポーツ」を真室川町で開催！参加者は爽やかな汗を流しながら走破していました。



←今年のお祭りは浴衣で出かけよう！（株式会社宮城提供）

着物の文化や歴史を学び、浴衣の着付けを体験！着てよし、見てよしの浴衣で日本の美を堪能しました。

もりびと 未来の森林人育成事業→ （森林整備課提供）

遊学の森（金山町）で森林整備の現場見学や木工クラフト体験を実施しました。木材伐採の様子は迫力満点！この中から未来の森林人（もりびと）が現れるかも？



～スピンオフ企画も実施しました～

8月2日・3日に、最上地域の若者を対象とした大規模交流会「**居盛家フラツとホーム**」をゆめりあで開催！2日間あわせて延べ83名の方にご来店いただき、大盛況でした。



[連携支援室 29-1236]

医療現場見学会 & 聞いてみよう！最上の医療・福祉のはなし

（新庄・最上ジモト大学プログラム）

8月6日、医療職に関心のある高校生が新庄徳洲会病院の医療現場を見学しました。普段は見ることのできない医療現場を見学した後は、現場で働く医療従事者の方々（医師、看護師、診療放射線技師）と懇談を実施、参加生徒からの質問に対し、それぞれの視点から丁寧に答えていただきました。

8月9日には、医療職・介護職に関心のある高校生を対象に「聞いてみよう！最上の医療・福祉のはなし」（場所：新庄市民プラザ）を開催し、地元で活躍する医療従事者の方々から仕事の話をお聞きしました。当日は前半の講話に続き、後半はフリートークを実施。最上保健所の山田所長（医師）がモデレーターとなり、ゲスト（看護師・介護福祉士・薬剤師・保健師）とともに、参加申込時に受付けた質問や聞いてみたいこと、会場からの質問に対して回答していただきました。

2つのイベントを通し、医療職・介護職の仕事への興味・関心や、医療・介護分野への就業志望意欲を高めてもらうことができました。



[保健企画課 29-1257]

最上地域みんなで子育て応援団 新庄まつり子育て支援事業

最上地域みんなで子育て応援団では、8月24日(土)～26日(月)の新庄まつり期間中、子育て支援センターMOCO'Sにて「おむつ交換場所」を開設し、赤ちゃんのおむつ交換や授乳、幼児のトイレ利用可能な場所として提供しました。利用者も300人以上と昨年より多く、暑さで顔を真っ赤にした幼児が「トイレを貸してください。」と入ってきたり、県外からの観光客の方が「授乳できる場所を探していました。」とホッとした表情をみせてくれたりと、色々な方に喜んでいただくことができた3日間でした。期間中、子育て応援団正会員が交代で支援を実施しましたが、さすが皆さんベテランの保育者、親御さんを的確にサポートし、一部ではミニ子育て相談会の光景もみられました。みんなで子育て応援団では、今後も引き続き地域の子育て応援事業に取り組んでいきます。 [子ども家庭支援課 29-1245]



進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～

最上地域の医療・介護分野の人材確保を図るため、管内の小中学生を対象に、将来の職業として医療・介護の仕事に関心を持っていただけるよう「進路を考える学習会～めざせ医療・介護のしごと～」を開催しています。

今年度第1回目として、9月3日に大蔵村立大蔵中学校の3年生を対象に開催しました。今回は、医師・看護師・理学療法士・介護福祉士を講師にお迎えして、仕事の内容やこの仕事を選んだ理由、最上地域で働く魅力などについて講演いただいた後、各ブースに分かれて体験学習を行いました。生徒たちは、模擬診断(医師)、バイタルサイン測定、PPE着用(看護師)、下肢装具の装着、ストレッチ(理学療法士)、車いすを用いた体験(介護福祉士)などに興味深く取り組み、医療・介護分野への興味・関心が高まったようです。



[保健企画課

29-1257]

あなたも縁結びやってみませんか? 「やまがた縁結びたい」セミナー

9月12日(木)、新庄市のゆめりあを会場に、一般社団法人日本結婚支援協会代表理事の田口智之氏をお迎えして、今年で3年目となる最上地域「やまがた縁結びたい」人材育成セミナーを開催しました。

はじめに、最上総合支庁子ども家庭支援課から、最上地域の深刻な人口減少・少子化の現状について説明した後、全国で結婚支援活動に取り組まれている田口氏から「婚活をめぐる最近の情勢」や「結婚を希望する方を支えるための留意点」などの講演をいただき、結婚支援を行っていくうえでの基礎知識について指導いただきました。21名の参加者の皆さんからは、「現在の若者の気持ちがだんだん分りにくい状況になっていましたが、がんばろうと思います。」「人と向き合うことの視点を多く学びました。」などの感想が寄せられており、結婚支援の活動をするうえで大切な考えに触れ、そのヒントや気づきを共有し、結婚を望む方の幸せづくりを応援する意義についてあらためて学ぶことができたようです。

今後、ボランティア仲人としてすでに活動中の「やまがた縁結びたい」の方々との懇談会も予定しております。ご縁を結ぶお手伝いに興味のある方はぜひ子ども家庭支援課までご連絡ください。

[子ども家庭支援課 29-1245]



最上産「つや姫」にご期待ください！

美味しい「つや姫」の収穫に向けて、8月28日に最上地域の『山形つや姫マイスター』が現地研修会を行い、刈取り適期等を検討しました。

今年は、春先の用水不足や7月の豪雨、夏の異常な高温等により、管理作業に苦勞の多い年でしたが、「つや姫」栽培をリードする農業者であるマイスターの圃場は、例年どおり見事な黄金色に稔っていました。

マイスターの皆さんは、例年より刈取り適期が早まっていることを確認し、「最後まで気を抜かず、適期刈取りで美味しい『つや姫』を消費者に届けよう」と気持ちを引き締めていました。

最上地域では、9月13日頃から「つや姫」の刈取りが始まりました。

今年も皆さんの食卓に美味しい「つや姫」をお届けします。ご期待ください。

[農業技術普及課 29-1322]

8/28 つや姫現地研修会（新庄市）



花いっぱい 新庄・もがみフラワーフェスティバル2024

トルコギキョウ、りんどう、ばら等の最上地域の花を身近に感じ、その魅力を知ってもらうため、新庄市の“ゆめりあ”で9月7日、8日に花を楽しむイベントを開催しました。



山形県知事賞
(りんどう)

花の品評会には93点が出品され、最優秀賞（山形県知事賞）は岸隆一さん（最上町）のりんどう、来場者の投票で決まる「キング・オブ・フラワー」には伊藤貴広さん（新庄市）のトルコギキョウが選ばれました。

美しい花々に彩られた会場では、来場者がお目当ての花を買い求めたり、花のオブジェを撮影したり、寄せ植えやフラワーブーケづくりに参加したりと、花を存分に楽しみながら、その良さを感じていました。



[農業振興課・農業技術普及課 29-1317]

もがみの花 de ユメリオン! ★新庄YATAI★

「最上地域森の感謝祭2024」を開催

10月5日に、最上地域の豊かな自然に感謝し、県民みんなで支える新たな森づくりを推進するため「最上地域森の感謝祭2024」が最上町にある「ふれあいの里 ふれあいの森」で開催され、来賓、緑の少年団員等49名を含む約180の方が参加されました。

今回の開催テーマは「小さなことから始めよう SDGsの森づくり」で、森づくりリレー旗の伝達、森林・林業功労者の表彰、代表者によるイロハモミジ・モクレンの記念植樹が行われました。

そのほか、森づくり活動として一般参加者と緑の少年団等による遊歩道へのチップ敷き活動や少花粉スギ苗木の植栽活動を行いました。

また、併催行事である「最上地区緑の少年団交流研修会」では、原木しいたけの植菌体験、木工クラフト体験としてマイスプーンと森のえんぴつ作りを体験しました。

緑の少年団等の皆さんは、さわやかな秋空の下、森づくり活動や原木しいたけ植菌体験等を通して、森林の大切さを実感する一日となりました。

[森林整備課 29-1348]



森づくりリレー旗の伝達



少花粉スギ苗木の植栽活動

・ Information ・

高速道路を使ってGO！ やまがた秋のドライブ 謎解きスタンプラリー開催！

村山、最上、置賜の3地域を巡るスタンプラリーです。今年度は新たに“謎解き”も楽しめます！

■期間

9月14日(土)～11月30日(土)

■参加方法

各スポットで二次元コードを読み取りスタンプを集めると、その数に応じて抽選で素敵な賞品が当たります。さらに、1スタンプで1文字取得でき、33文字(全33スポット)集めると完成する謎の問題文に正解すると、「謎解き賞」として抽選で豪華宿泊券をプレゼント！

詳しくはこちら！→



[観光振興室
29-1308]

撮って、巡って、“旅”って楽しい 秋の最上・庄内まるごと スタンプラリー開催！

最上・庄内地域の秋の魅力を“まるごと”味わえるスタンプラリーです。スタンプを集めながら、フォトスポットを撮って巡って楽しもう！

■期間

10月1日(火)～令和7年1月13日(月・祝)

■参加方法

スポットごとに設定された食事、買い物、体験等のスタンプ条件をクリアしてスタンプをゲット。計6つのスタンプを集めて応募すると、抽選で素敵な賞品が当たります！



←詳しくはこちら！

[観光振興室 29-1312]

10月17日～23日は、 「薬と健康の週間」です。

医薬品は病やケガを治すのに役立つ一方、正しく使わなければ思わぬ健康被害を引き起こすこともあります。

使用期間・用法・用量・保管方法などを守り、使用上の注意を十分に理解して、正しく使用しましょう。

医薬品について、不明な点がある場合や、医薬品の服用後に問題が生じた場合には、医師・薬剤師等の専門家に相談をしましょう！

[保健企画課 29-1257]



「フードドライブ」を実施します

食品ロスに対する意識向上と食品ロス削減推進のため、食品ロス削減の日(10月30日)にあわせて「フードドライブ」を実施します！

日時：10月30日 8～16時
10月31日 8～13時
場所：最上総合支庁1階ロビー



フードドライブとは、ご家庭で買いすぎてしまったり、もらったけれど使う予定がない食品を集めて、地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等へ寄付する活動のことで、食品ロスの削減には消費者一人ひとりが自分事と考え、主体的に取り組むことが重要です！

[環境課 29-1287]

最上地域みんなで子育て応援団

～みんながいっしょ～親子でスポーツ！

親子で元気いっぱい体を動かしましょう。遊びながら体を動かせる、誰でも楽しめる運動遊びです。そのほかヨガやダンス体験もあります。元気いっぱい笑顔いっぱいのイベントです。ぜひご参加ください。

日時：令和6年11月2日(土)

会場：すぽーていあ(新庄市金沢1147)

対象：幼児から小学校低学年程度までのお子さんとその保護者

参加料：無料(事前申込が必要)

申込先：二次元コード又は、子ども家庭支援課へ

申込締切：令和6年10月24日(木)

[子ども家庭支援課 29-1245]



申込フォーム



ジモト大学オープンキャンパス 2024 開催!

新庄・最上ジモト大学の取組みについて、まだジモト大学のプログラムを経験していない小中学生やその保護者の方など地域の皆さまにもっと知っていただくため、「**ジモト大学オープンキャンパス**」を開催します!ジモト大学の概要や昨年度実施したプログラムを紹介するパネルを掲示するほか、ジモト大学で作られた作品の展示や、実際にプログラムを体験できるプチ体験ブースの設置などを行う予定です。
入場無料・入退場自由ですので、ジモト大学に興味のある方は、ぜひお立ち寄りください!

- ◆日時(予定): 令和6年11月9日(土) 10時~15時頃
 ※新庄市教育の日「コスモデー」記念行事と同時開催
- ◆場所: 新庄市民プラザ2階 ロビー・ギャラリー
- ◆内容(予定): ジモト大学のパネル・作品展示
 プログラム体験ブースの設置
 (手話教室、自衛隊体験、木工クラフト体験など)



[連携支援室 29-1236]

11月14日は「世界糖尿病デー」
 11月11日~17日は「全国糖尿病週間」です
 ~みんなで正しく理解しましょう~

「気象災害に負けない農業経営」 のための研修会を開催します

糖尿病の患者数は、生活習慣や社会環境の変化により増加しています。糖尿病を予防するために、重症化を予防し命を守るために、糖尿病をもつ人と地域で一緒に生活するために、あなたの正しい理解が必要です。動画の上映、パネル、パンフレットの配置をしますのでぜひご覧ください。

近年の豪雨災害を始めとする様々な災害から農業を守るための、セーフティネットや制度資金の活用に関する研修会を開催します。

どなたでも参加可能です。

この機会に参加いただき、安定した農業経営の確立にお役立てください。

最上総合支庁ロビー
 期間: 11月5日(火)~15日(金)
 県立新庄病院図書室
 期間: 11月1日~29日平日
 ミニ糖尿病教室の動画を放映

[地域健康福祉課 29-1267]

開催日時: 11月14日(木) 14:00~15:30
 開催場所: 東北農林専門職大学 大講義室
 講師: 農業共済組合並びに日本政策金融公庫職員
 講演内容: セーフティネット及び制度資金の活用について

[農業技術普及課 29-1322]

第9回最上小国川写真コンテスト 作品募集中!



東北農林専門職大学
 Tohoku Professional University of Agriculture and Forestry

一般選抜

令和7年度入学生を募集します

最上小国川清流未来振興機構では、「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマにした写真コンテストを開催中です。

スマホで撮影→HPから応募もOK!!
お気軽にご応募ください!!

募集期間: 令和6年11月30日(土)まで

入賞: 最優秀賞1点、優秀賞3点、入選4点、特別賞3点、鉄道特別賞1点程度
 ※賞金のほか最上小国川流域の特産品を贈呈

審査結果発表: 令和7年1月頃予定
 詳しくはHPをご覧ください。
 [連携支援室 29-1239]



【対象】山形県内外を問わず、農業又は森林業に高い関心を持ち、農業又は森林業の課題解決や持続可能な地域の発展に貢献する意欲がある者

【日程】募集人数 農業経営学科 10名
 森林業経営学科 4名
 出願期間 令和7年1月27日(月)
 ~令和7年年2月5日(水)

試験日 令和7年2月25日(火)
 選抜方法など詳しくは大学ホームページの学生募集要項〈一般選抜〉をご覧ください



[教務学生課 25-8302]

発行日: 令和6年10月16日
 発行元: 山形県最上総合支庁総務企画部総務課 総合案内窓口
 電話: 0233-29-1360 FAX: 0233-23-2605



Twitter



HP

